

## サプテ - マ : ~ ニシンが群来(くき)る豊かな海を未来に繋ぐ森づくり ~

間伐により新たに発生する二酸化炭素量を、クレジット化し販売することで、森林施業経費財源を確保し、継続した森林整備を行なおうとしています。一方海岸ではニシンの群来(産卵)も確認出来るようになったことから、豊かな森林を造成することで、藻場となる豊かな海岸環境の維持拡大を図り、地域の活性化を図ろうとしているものであります。

プロジェクトの実施場所	北海道石狩市内一円
吸収量(予測)	年間 530 t-CO2
在庫量	1,167 t-CO2(24年7月時点)
クレジットの次回発行予定	25年 1月
1t-CO2あたりの希望単価	¥10,500円

豊かな森林が海岸の崖まで続く石狩湾北部の沿岸は、かつてニシンにより大いに繁栄しましたが、昭和29年を境にその姿を消し、幻の魚となりました。しかし、近年ニシンが少しずつ浜に戻り、一部では「群来(くき)」「産卵」が見られるようになりました。群来(くき)に欠かせない、豊かな藻場を育てるためには、森林を育て落ち葉などの有機物が海に流れ込む環境作りが大切で、これまで取組んで来た間伐など多くの施業が実ったものと考えています。

企業活動などから排出されるCO2の埋め合わせに、当市のクレジットを使用することは、森林の整備にとどまることなく、森林・河川・海という広範にわたる環境改善に貢献することとなり、これまでの森林吸収系クレジットとは一味違った企業イメージの向上に役立てることが出来るのではないのでしょうか。

クレジット購入者は、石狩市クレジットのロゴマークを一定期間使用することが出来ます。



枝打ちした森林

厚田海岸でのニシンの群来(産卵)状況  
(乳白初部分がニシンの産卵個所)